



ARWIT推進センター キックオフシンポジウム

— データの価値を最大化する
研究・開発の次世代DX —

ARWIT
とは?

デジタル技術やロボティクス技術を活用した研究開発の自動化を表す Automated Research Workflowと、社会実装を表す Industrial Translationの頭文字を合わせたものです。

本学は、文部科学省の地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS) において、「研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に貢献する大学」を10年後のビジョンとした取り組みを進めております。この事業の戦略の1つとして、「自律的研究強化・社会実装 (ARWIT) システムの構築と共有」を行います。

DATE

2026 4.22 水

13:30 ▶ 17:00

懇談会

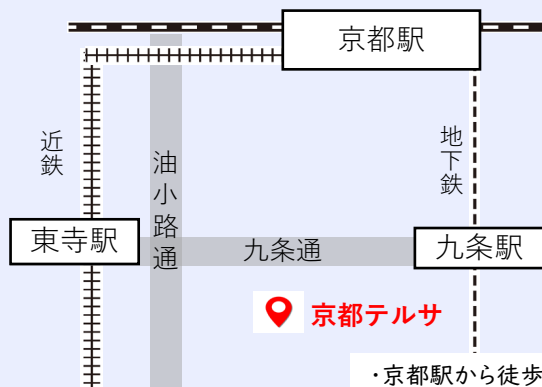
参加無料

17:15 ▶ 19:00

要申込

(途中退席可)

会場: 京都テルサ 西館1階 テルサホール
京都府京都市南区東九条下殿田町70



- ・京都駅から徒歩15分
- ・近鉄東寺駅から徒歩5分
- ・地下鉄九条駅から徒歩5分

プログラム

13:30 開会挨拶

塩崎 一裕 学長

13:40 来賓挨拶

俵 幸嗣 氏 (文部科学省 科学技術・学術総括官)

13:45 ARWIT推進センターに関する説明

太田 淳 (本学 ARWIT推進センター長)
上久保 裕生 (ファウンドリ部門長)
林 優一 (セキュアデータ流通部門長)
富谷 茂隆 (データ利活用部門教授)

14:25 なぜARWITなのか

船津 公人 (本学 データ駆動型サイエンス創造センター
研究戦略アドバイザー/特任教授)

14:35 招待講演

夏目 穰 氏 (旭化成株式会社 研究・開発本部 基盤技術研究所
デジタル革新技术部 部長/高度専門職・リードエキスパート)
「旭化成における研究・開発のDX取組紹介とNAIST-ARWITへの期待」

14:55 休憩

15:10 招待講演

古川 直樹 氏 (株式会社カネカ 常務執行役員 薄膜プロセス開発研究所長)
「プロセス革新に挑む!「カネカの生産技術研究開発におけるDXの取組とNAIST-ARWITへの期待」」
奥野 恭史 氏 (京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野 教授)
「AI駆動型科学への挑戦」
井上 大介 氏 (国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT) サイバーセキュリティ研究所 研究所長)
「データ駆動型サイバーセキュリティ研究の最前線～ AI時代のセキュリティ確保とデータ利活用～」
西村 泰紀 氏 (株式会社 島津製作所 分析計測事業部 マネージャー)
「データを生み出す装置づくり ―計測メーカーから見たデータ活用や自動化の出発点―」
花岡 悟一郎 氏 (産業技術総合研究所 サイバーフィジカルセキュリティ研究部門 首席研究員)
「セキュアなデータ流通を促進する秘密計算とその応用」

16:50 閉会挨拶

中島 敬二 (本学 ARWIT推進センター 戦略企画部門長)

申込期限

懇談会: 3.31 (火)

シンポジウム: 4.17 (金)

事前申込をお願いします

こちらをクリック

or

QRコードから



17:15 懇談会

会場: 京都テルサ東館1階

参加無料・途中退席可



ARWITシステムの概要については、
こちらをご覧ください

<https://www.naist.jp/research/j-peaks.html>